

31 サイバー教室

昨今の通信機器の発達が目覚ましく、パソコン・携帯電話・スマートフォン・通信機能付きゲーム機・スマートウォッチ…様々な形で私たちの生活に入ってきています。もちろんそれは子どもたちの生活にも同様に大きな影響を与えています。



今日は、神奈川県警本部 少年育成課 少年相談・保護センターから講師をお招きして、5・6年生を対象にサイバー教室を開いていただきました。現役の警察官の方の話であり、まさについ最近起こった、小学生が巻き込まれたあるいは巻き込まれそうになった事例をもとにお話いただきました。

携帯電話にせよ、スマートフォンにせよ、通信機能付きの様々なツールにせよ、子どもたちにとってはとても欲しいものだと思います。「みんなもってるから自分も欲しい」という言葉に代表されるのではないのでしょうか。

ではその管理は誰がするのか。子どもたち自身で？いえいえ、とても危険なことだと考えます。子どもたちは使い方は大人が思う以上に急速に上手になり、そして幅広く使い方の知恵を得ることができます。大人は追いつくことができないくらいに。



私は極論を言えば、自己責任がとれないうちは持たせるべきではないと思っています。ただ今のこの時代、そうはいかないでしょう。だとすれば、保護者の方がきちんとセキュリティーをかけ、使い方の約束を結び、時には監視をするくらいであってほしいと望みます。大きな犯罪に巻き込まれたり、いじめの被害や加害者になったりする前に。